

北九州市民寄席

200回記念公演

で北倉月10日
小来

「北九州市民寄席」(NPO法人古典落語を守る会主催、毎日新聞社など後援)の200回記念公演が4月10日、小倉北区室町1の北九州芸術劇場中劇場である。柳亭市馬さんと柳家三三さんの二人会。

市民寄席は、イベント企画会社「北九州市民文化センター」(椛島敬社長)が1973年、5代目柳家小三さんのアドバイスを受

出演 柳亭市馬さん 柳家三三さん

け、年3、4回ペースで開催してきた。しかし、興行が年々厳しくなり、2014年にNPO法人が引き継ぎ伝統芸能を守っていくことになった。

4代目柳亭市馬さんは1961年大分県生まれで、2014年に落語協会会長に就任。柳家三三さんは、74年神奈川県生まれで、06年に真打ちに昇進した若手のホープ。

守る会の神代明理事長は「市馬会長と三三さんは柳家一門の弟子筋にあたり、このぜいたくな組み合わせは珍しい」という。寄席は午後1時からで、前売り4000円(当座1000円増)。

読者ペア3組を招待する。希望者ははがきに住所、氏名、年齢、電話番号を明記して、〒802-0002 小倉北区京町3の10の8 古典落語を守る会 毎日係へ。25日必着。また次世代につなげようと中高生30人も招待する。希望者は電話で応募を。同会093・5111・6662。【松田幸恵】



来場をよびかけるNPO法人古典落語を守る会の神代明理事長(左)ら

(第3種郵便物認可)